



白木ツジマチでの様子

Various activities on campus ~施設の取り組み~

エクスカア研修

みなさんの施設では排泄のケアをどうお考えですか？

-3日で下剤、-4日に坐薬、施設でよくある排便コントロールではない

でしょうか。「今までの排便間隔は？」「そもそも便秘って人それぞれでは？」

そんな視点や知識とフィジカルアセスメントを活用し、排泄ケアを見つめ直すために、法人では排泄に特化した excare(エクスカア)研修を行っています。日本コンチネンス協会の種子田講師に依頼をして、特養原から始まり、特養ひうな荘、現在の白木ツジマチと内容をブラッシュアップしながら続けています。

専門知識だけでなく、腹部の聴診、打診、マッサージなどの技術も学びます。腸の蠕動運動がどんな音で何回くらい鳴っているのか、介護職員も MY 聴診器で聴診を行います。腹部の張りは、ガスなのか、何なのか打診をします。受講してからはご利用者ごとの排便間隔や、腸の音(回数)、採血データ等を根拠に、職員がマッサージをし、看護職員は便がどこまで降りて来ているのか直腸診をしてから下剤(坐薬)を使用するようになりました。

結果、性状を整える事に成功し、布パンツへ変更出来た方、下剤の服用がゼロになった方など改善が見られています。次は、排泄ケアで悩まれているあなたの施設に…

(文責：さくらテラス青葉町 松田一樹)



白木ツジマチでの様子

ひうな荘での様子

M-news 28 TOPIC

2面

川崎ラシクルマルシェ
奨学金制度

3面

ソレイユ川崎 紹介
在宅継続支援事業

4面

Misasagram
スマイルキッチン

ラシクルマルシェ開催



日本でも多くの場所で開催されているマルシェ（市場）ですが、かくいう三篠会でも定期的に開催している場所があります。川崎市川崎区日進町にある、看護小規模多機能型居宅介護川崎ラシクルです。私たちは、川崎市から「小地域における生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）」を受託しています。この事業の一環として、令和6年から3か月に1回、川崎ラシクルの地域交流スペースで開催しており、今年の6月で3年目を迎えます。マルシェでは、パンや野菜、小物、お弁当などの販売、バザーやフードドライブ、福祉用具体験やノーリフティングケア体験会等を実施しています。また、障害者の社会参加の機会の場として、出店してもらっているお店の多くは就労継続支援 B 型事業所の方々です。開催以降、来場者の口コミ、地域包括支援センターや町内会、民生委員の方々にご協力いただき広報をすることで、来場者が増えていきました。2年目を迎える頃には毎回来場される方もおり、「次はいつやるの?」「どんなお店が出るの?」などの楽しみにされているお声をいただけるようになりました。地域のニーズをつかむために始めたマルシェですが、開催することで地域の方々が自然に集う場所として役立っていると感じています。

(文責：川崎ラシクル 魚川純平)

ラシクルマルシェ
 令和8年3月6日 金曜日 11時～13時
 川崎市複合福祉センター
 ふくふく1階 地域交流スペース
 *川崎市から委託を受けている生活支援コーディネーター事業の一環でイベントを開催しています。

社会福祉法人 資産社
パン工房 アンダラテ

社会福祉法人
あおぞら共生会
八月屋あおぞら

社会福祉法人
あおぞら共生会
ブルチェロ

どうぶつ園
赤い桜社

初出店 エンパワー
マックトリー

初出店

社会福祉法人
大樹
はくの華

川崎中社
ヤクルトセンター

川崎ラシクル
南部日中活動センター

lupinus

アツタキこころ

社会福祉法人
ハルスタム
神楽川

お問い合わせ
看護小規模多機能型居宅介護 川崎ラシクル
☎ 090-4175-8275

次回開催日
令和8年6月5日(金)
11時～13時

Corporate Governance System



奨学金について

～法人の制度～

三篠会では、将来福祉分野での活躍を志す学生の皆さまを支援するため、「奨学金制度」「Mini 奨学給付金」の2つの支援制度を設けています。

「奨学金制度」は、大学・短期大学・専門学校等に進学予定および在学中の方を対象に、年間120万円、4年間で最大480万円まで貸与する制度です。卒業後に当法人の常勤職員として就業頂ければ、勤務年数に応じて奨学金の返済が免除されるため、金銭的な不安を気にせず学業に集中できます。そして、就職後は学生時代に培った知識や経験を職場で活かし、ご利用者を支える人材として活躍していただきたいと考えています。

「Mini 奨学給付金」は、卒業後の就職先を限定せずにご利用できる制度です。在学中に三篠会の施設にてアルバイトとして勤務することで、給付金の返済が不要となります。また、介護職員・保育士補助・調理員等の仕事内容に触れながら現場経験を積むことができ、興味や関心の幅を広げることで将来の進路選択にも役立ちます。

それぞれの制度は、個々のライフプランに合わせて選択でき、活用いただくことで学業と将来のキャリアを少しでも支援したいと考えています。制度の詳細や申込み方法について気になる方は、本部総務課の奨学金担当者までお気軽にお問い合わせください。

(文責：法人本部 上田友里)

就業先を指定する入学者も歓迎!

奨学金制度

奨学給付金の募集

奨学金受給者の就職先

返済の目安

01 三篠会で働いて返済免除 (※条件あり)

02 年間120万円 4年間で480万円が上限

03 在学中ほかの奨学金も可能

返済額	返済年数	返済総額
50万円	1年償還	50万円
100万円	2年償還	100万円
150万円	3年償還	150万円
200万円	4年償還	200万円
250万円	5年償還	250万円
300万円	6年償還	300万円
350万円	7年償還	350万円
400万円	8年償還	400万円
450万円	9年償還	450万円
500万円	10年償還	500万円

お問い合わせ ☎ 062-640-3009

Let's see the campus



ソレイユ川崎は川崎市で唯一の重症心身障害児者施設であり、平成17年4月に開設してから今年度で20周年を迎えました。長期入所サービスの療養介護・医療型障害児入所をはじめ、生活介護・放課後等デイサービス・児童発達支援といった通所系サービスのほか短期入所サービス、外来診療、訪問看護・訪問リハビリまで幅広く事業を展開しています。併設のそれいゆ保育園は医療的ケアの必要なお子さんの預りも可能であり、最寄りの新百合ヶ丘駅前には相談支援センターそれいゆもあります。さらに新たな取り組みとして、10月より重度訪問介護事業を開始いたしました。

2025年は開設20周年を記念してソレイユ川崎の一大イベントであるソレイユまつりを開催し、5年ぶりのキッチンカー販売やフルーツ演奏・大道芸・シャボン玉ショー、ゲームコーナーなど盛りだくさんのプログラムが大盛況でした。おまつり後は20周年祝賀会を開催し、職員一同ソレイユ川崎の20周年をお祝いしました。

“ソレイユ”とはフランス語で太陽を意味します。今後ご利用者様が地域で安心して暮らせるよう、太陽のように人々の笑顔とエネルギーにあふれる施設づくりの実現を目指してまいります。（文責：ソレイユ川崎 網干麗華）



ソレイユまつりの様子

在宅継続支援事業とは...



広島市の補助事業で在宅で高齢者等を世話するご家族に対して在宅介護指導員が自宅等へ訪問し介護技術や高齢者との関わり方、介護の悩み等について無料で指導や助言を行います。

ご利用対象の方は広島市内に住む65歳以上の高齢者の世話をするご家族や広島市内に住む介護認定を受けている方を世話するご家族等です。

在宅介護指導員は各区に一人配置されており、広島市内8区あるうち三篠会ではひうな荘(南区)と鈴が峰(佐伯区)が委託を受け担当しています。毎日介護を頑張っておられるご家族の支援をしています。

オムツ交換の方法、ベッドから車椅子への移乗や福祉用具の使用方法などの介護の実技指導、介護予防についての助言、介護についてのお悩みについての相談も承っております。家族会等も実施しております。

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所のケアマネジャーさん・民生委員さん等と協力しながら介護で困っている方々の支援に取り組んでいます。在宅での生活のお悩みを一つでも多く解決できるよう日々、頑張っています。

(文責：鈴が峰 杉山あずさ)





Misasagram



松屋茶論



匠★

見ごたえのあるダブルひな壇！！

#ひな祭り #大阪府堺市



みずさわ



～節分～福を呼ぶひととき

#障害者支援施設

#豆まき #鬼は外



青葉さくら保育園



青空の下、

元気な声で鬼を追い払ったよ！！

#保育園 #豆まき #みんな笑顔

Smile Kitchen

-かわら版-

このコーナーでは、三篠会栄養士の取り組みや栄養に関する情報などをお伝えします。

全施設の調理職員を対象に、衛生管理や調理技術を共有しています。

ホシザキ中国(株)のHACCPコーディネーターを講師に迎え、器具の消毒方法や次亜塩素酸ナトリウム濃度による消毒効果について実践的に行いました。「殺菌剤をたくさん使うほど効果が上がるというわけではない。正しい量で使おう」「酸性電解水の有効性の比較実験をした。洗浄効果と安全性がよくわかった」「わかりやすい説明で、それぞれの野菜の殺菌方法が理解できた」「他施設の方と話ができてよかった。モチベーションが上がります！」と前向きな感想が聞かれました。今後も学びの機会を通して、安全で安心な食事を提供していきます。

(文責: 鈴が峰 望月真理)



編集後記



私自身気づけば昔から大の温泉好きで、学生時代より西日本を中心に野湯から温泉施設まで、さまざまな種類の湯につかってきました。そもそも「湯につかる」という行為そのものが好きで、三日間で十二湯を巡ったのが自身の最高記録です。近年、この「湯につかる」習慣が見直され、研究では認知症予防や病気のリスク軽減につながる可能性も示されています。効果のほどはさておき、湯に身を委ねる時間が心身を整えてくれるのは確か。皆さまもぜひ、お気に入りの一湯を見つけてみてはいかがでしょうか。



社会福祉法人 三篠会
広報班: 松本浩一